

## コロケーション・ワークブック作成への筋道 (2)現状分析と展望

小屋, 多恵子

---

(出版者 / Publisher)

法政大学小金井論集編集委員会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学小金井論集 / 法政大学小金井論集

(巻 / Volume)

9

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

23

(発行年 / Year)

2012-12

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00009078>

# コロケーション・ワークブック作成への筋道 (2)

## — 現状分析と展望 —

小 屋 多 恵 子

### 1. はじめに

コロケーション研究は、1990年代からコンピュータ言語学の隆盛に影響を受け、コーパスによるデータ分析結果を反映した成果が数多く報告されている。それに呼応するように、コーパスに基づくコロケーション・ワークブックが出版されるようになった。現在、コーパスベースのコロケーション・ワークブックと作成者の主観によるコロケーション・ワークブックが混在しているが、学習段階で必要なコロケーション、その提示の仕方、学習方法を精査したワークブックは皆無に等しい。そこで本稿では、delexicalized verb+共起語の分析により、国内外で出版されているコロケーション・ワークブックの現状を明確にし、効果的なワークブック作成の指針を考究する。

### 2. 先行研究

#### 2.1. これまでのコロケーション・ワークブック分析

今回の結果報告に先立ち、既刊のコロケーション・ワークブック 8冊に登場するコロケーションを高頻度上位 20位のノード語+共起語に絞って分析した結果を報告した(小屋 2012)。8冊は、コロケーション徹底演習Ⅰ(『徹底演習Ⅰ』)、コロケーション徹底演習Ⅱ(『徹底演習Ⅱ』)、出る順コーパスドリル日常会話編(『日常会話』)、出る順コーパスドリル ビジネス編(『ビジネス』)、コロケーションで学ぶ生活英単語厳選 385(『生活英単語』)、英熟語+コロケーション問題厳選 700題(『英熟語』)、*English Collocations in Use (ECU)*、*English Collocations in Use Advanced (Advanced)*であった(以下カッコ内に表示)。この分析では、

基本語で構成されているコロケーションを多く扱っているというメリットがあるものの、レベルに応じて学習すべきコロケーション、ノード語と共起語の選択、共起語数などは作成者がそれぞれの判断により決定しているため、共通項が非常に少ないというデメリットがあることが判明した。また、高頻度ノード語の品詞に着目すると、『日常会話』、『ビジネス』、『生活英単語』の3冊は名詞中心であり、『徹底演習Ⅰ』『徹底演習Ⅱ』『英熟語』*ECU*、*Advanced*では動詞の割合が多く、中でもdelexicalized verb (e.g. make, take, do) が多く登場していた。そこで、今回は delexicalized verb である make, take, get, give, do, put, keep の7語に着目した分析からコロケーション・ワークブックの現状を探ってみることにする。

## 2.2. delexicalized verb

delexicalized verb (あるいはdelexical verb) は、語の持つ具体的な意味が薄れ、高度に抽象的な関係しか示さなくなり、時にはその役割のほとんどが時制や態などの文法的指標でしかなくなってしまうことをいう (柳沢・佐藤)。主な delexicalized verb は、*do*, *get*, *give*, *have*, *keep*, *look*, *make*, *put*, *take* である。この delexicalization の概念は、コロケーション研究の中心にあり、他の語と結びついて意味を共有する働きをし (Sinclair & Renouf 1988, Partington 1993)、Lexical Approach (Lewis, 2002) においてはこの概念を重要視している。この delexicalized verb を含むコロケーションは、多くの学習者が難しいと感じる語と語のコンビネーションであり、それは母語とは異なる使い方や動詞の意味の透明性の観点 (transparency) からコロケーション全体の意味を推測しづらいことが要因になっている。

## 3. 分析方法

### 3.1. 分析対象コロケーション・ワークブック

今回対象としたコロケーション・ワークブック<sup>1</sup>は、高頻度上位 20 位のノード語 + 共起語に絞って分析したワークブック 8 冊と同じものを使用した。日本で出版されている 6 冊と、海外で出版されている 2 冊の計 8 冊である。選定する際に次の 2 点を考慮した：

- (1) コロケーションを習得するためのドリルであることが明確に記載されていること。
- (2) コロケーション集ではなく、学習者が問題に答える形式のワークブックであること。

表1 分析したコロケーション・ワークブック

コロケーション・ワークブック	出版年	コロケーション総数	対象
コロケーション徹底演習Ⅰ	2004	597	すでに力を持っている学習者・各種英語検定試験の受験者
コロケーション徹底演習Ⅱ	2004	471	
出る順コーパスドリル 日常会話編	2005	1104	英語初級～全レベル
出る順コーパスドリル ビジネス編	2007	1104	英語初級～全レベル
コロケーションで学ぶ生活英単語 厳選 385	2008	385	初級
英熟語+コロケーション問題 厳選 700 題	2010	293	高校生 (基礎～英検1級)
English Collocations in Use	2005	5817	Intermediate
English Collocations in Use: Advanced	2008	4275	Advanced

### 3.2. コロケーションの収集と分析方法

コロケーションのコーパス化と分析方法は以下の通りである。

- (1) コロケーション・ワークブックをすべてスキャナでとり、OCRでテキストデータにする。
- (2) コロケーションのみを集めたコーパスを作る。
- (3) コンコーダンサー AntConc<sup>2</sup> と英文語彙難易度解析プログラム<sup>3</sup> で分析する。

## 4. 結果と考察

### 4.1. 複数ワークブックに共通して登場する delexicalized verbs + 共起語にはどのようなものがあるか

まず、表2によると、今回対象とした8つのワークブックに共通して登場するコロケーションは1つもない。4冊に共通して登場するのが、make の2つのコ

ロケーション (make an effort / make plans) であった。続いて、3冊に共通して登場するのはmakeの6つ (make a mistake, make a phone call, make arrangements, make friends, make money, make progress)、takeの6つ (take a risk / take a train / take advantage of / take care/take up a position / take your time)、giveの2つ (give someone a call / give a thought)、doの6つ (do research / do some shopping / do some work / do sport / do the sights of)であった。

表2 ワークブックに共通して登場するコロケーション

Make	
4冊	make an effort / make plans
3冊	make a mistake / make a phone call / make arrangements / make friends / make money / make progress
2冊	make an impression / make a change / make a comment / make a commitment / make a contribution / make a point / make a reservation / make a speech / make an appointment / make a case for / make difference / make discovery / make a habit of / make stride / make one's acquaintance / make a payment / make an announcement / make trouble / make coffee
Take	
3冊	take a risk / take a train / take advantage of / take care / take up a position / take your time
2冊	take a course / take a stroll / take action / take full credit for / take responsibility / take the trouble to / take office / take a test / take a message / take measures
Get	
2冊	get a degree / get a qualification / get excited / get into trouble / get in (out of) a car
Give	
3冊	give someone a call / give a thought
2冊	give a laugh / give way to / give a hand / give a job
Do	
3冊	do research / do some shopping / do some work / do sport / do the sights of
2冊	do business / do harm / do homework / do your hair / do one good
Put	
2冊	put a question to / put into practice / put someone to bed
Keep	
2冊	keep a record / keep one's balance / keep in shape / keep in mind

次に、表3でコロケーションがどのワークブックに共通して登場しているかをみていく。同じコーパスを利用したシリーズもので、対象レベルを変えている *ECU* と *Advanced* では、重要なコロケーションは両者に共通して登場させ、定着を図ると謳っているように、共通しているコロケーションが多い。それと編者の主観によって編纂された『徹底演習Ⅰ』に共通しているコロケーションが多く、

表3 複数のワークブックに共通して登場するコロケーションの分布

	<i>ECU</i>	<i>Advanced</i>	徹底演習Ⅰ	徹底演習Ⅱ	生活英単語	英熟語	日常生活	ビジネス
make a case for	✓	✓						
make a change	✓	✓						
make a comment	✓		✓					
make a commitment	✓	✓						
make a contribution	✓	✓						
make an impression	✓		✓					
make a habit of		✓		✓				
make a mistake	✓	✓	✓					
make a payment			✓		✓			
make a call	✓				✓	✓	✓	
make a point	✓							
make a reservation	✓							✓
make a speech	✓		✓					
make an announcement			✓					✓
make an appointment	✓						✓	
make an effort	✓	✓	✓			✓		
make arrangements	✓	✓	✓					
make coffee					✓		✓	
make difference		✓	✓					
make discovery		✓	✓					
make friends	✓	✓					✓	
make progress	✓		✓	✓				
make money	✓		✓				✓	
make an acquaintance		✓	✓					
make plans		✓			✓		✓	
make stride		✓	✓					
make trouble			✓				✓	
take a course	✓		✓					
take a message			✓		✓			
take a risk	✓		✓			✓		

take a stroll	✓					✓		
take a test		✓					✓	
take a train	✓				✓		✓	
take action	✓	✓						
take advantage of	✓			✓		✓		
take care	✓			✓	✓			
take full credit for	✓	✓						
take measures			✓			✓		
take office		✓					✓	
take responsibility	✓	✓	✓					
take the trouble to		✓					✓	
take up a position	✓							✓
take one's time	✓	✓	✓					
get a degree	✓		✓					
get a qualification	✓						✓	
get excited	✓					✓		
get in (out of) a car					✓		✓	
get into trouble			✓				✓	
give a hand				✓			✓	
give a job							✓	✓
give a laugh	✓	✓						
give a thought		✓	✓	✓				
give someone a call	✓				✓		✓	
give way to	✓			✓				
do business	✓							✓
do harm	✓		✓					
do homework	✓				✓			
do one good			✓	✓				
do research	✓	✓		✓				
do some shopping	✓	✓			✓			
do some work	✓	✓	✓					
do sport	✓	✓			✓			
do the sights of	✓	✓	✓					
do one's hair					✓			
put a question to		✓	✓					
put into practice		✓			✓			
put someone to bed					✓		✓	
keep a record	✓						✓	
keep in mind			✓	✓				
keep in shape		✓		✓				
keep one's balance	✓	✓						

一方で『徹底演習 I』とその他の日本で出版されているワークブックと共通して登場するコロケーションが少ないことがわかる。

表 4 は、複数のワークブックに登場する delexicalized verbs の共起語の語彙レベルを表したものである。まず、JACET8000<sup>4</sup>に基づくレベルを見ると、基本語 2000 (Level 1～2) の共起語は 85.3% (58 語) である。EGP (English for General Purposes 一般目的のための英語) に必要な 4000 語の共起語を加えると 92.7% (63 語) と 9 割を超える。一方、SVL12000<sup>5</sup>に基づいた表を見ると、入門・初級レベル (Level 1～4) で読解の基礎を固める 4000 語までのノード語とその共起語の割合は 92.7% (63 語) であり、中級レベル (Level 5～7) までのノード語と共起語を加えると 98.5% (67 語) となる。このことから、ワークブックに共通して取り上げられている delexicalized verb からなるコロケーションは、EGP に必要な語から構成されていることがわかる。

表 4 複数のワークブックに登場する delexicalized verbs の共起語の語彙レベル

JACET 8000			SVL 12000		
単語レベル	単語数	%	単語レベル	単語数	%
1,000 (level 1)	44	64.7	1,000 (level 1)	32	47.1
2,000 (level 2)	14	20.6	2,000 (level 2)	18	26.5
3,000 (level 3)	2	2.9	3,000 (level 3)	11	16.2
4,000 (level 4)	3	4.4	4,000 (level 4)	2	2.9
5,000 (level 5)	2	2.9	5,000 (level 5)	3	4.4
6,000 (level 6)	3	4.4	6,000 (level 6)	1	1.5
7,000 (level 7)	0	0.0	7,000 (level 7)	0	0.0
8,000 (level 8)	0	0.0	8,000 (level 8)	1	1.5
			9,000 (level 9)	0	0.0
			10,000 (level 10)	0	0.0
			11,000 (level 11)	0	0.0
			12,000 (level 12)	0	0.0
TOTAL	68	100.0	TOTAL		100.0
level 5 の共起語	stride、excited		level 8 の共起語	stroll	
level 6 の共起語	acquaintance、stroll、homework				

表5は、共通コロケーションがイギリスの British National Corpus<sup>6</sup> (以下 BNC) において、登場頻度と delexicalized verbs と共起する語と語の結びつきの強さ、いわゆる共起強度を調べたものである。共起強度はBNCが推奨する z-score を基にしている。そこでは、登場頻度が高く、かつ語と語の結びつきが強い語が多く登場している。例えば、頻度と共起強度とも 100 位以内に位置するコロケーションは、make の 11 (make mistake / make contribution / make difference / make arrangement / make effort / make progress / make comment / make money / make payment / make point / make change) で、この中で make effort が 4 冊に共通、make mistake / make arrangement / make money が 3 冊に共通、残りが 2 冊に共通であった。take は、6 つのコロケーション (take advantage / take care / take action / take responsibility / take risk / take time) が頻度・共起強度とも 100 位以内に入っており、take advantage / take care / take risk / take time の 4 つが 3 冊に共通、残りが 2 冊に共通であった。give は、2 つのコロケーション (give thought / give way) が頻度・共起強度とも 100 位以内に入っており、give thought が 3 冊に共通、give way が 2 冊に共通であった。do は、1 つのコロケーション (do work) が頻度・共起強度とも 100 位以内に入っており、3 冊に共通である。put と keep は、それぞれ 2 つのコロケーションで頻度・共起強度とも 100 位以内に入っており、put bed / put practice / keep mind / keep record の 4 つすべてが 2 冊のワークブックに共通であった。get は頻度・共起強度とも 100 位以内に入っているコロケーションは 1 つもなかった。一方で、頻度や共起強度が 1000 位以降のもの (make discovery / make plan / make acquaintance / make reservation / do business) も共通して登場するコロケーションに入っている。この中で make plan に関しては、4 つのワークブックに共通して登場している。表5に入っていない make case / take office / get degree / get qualification / do research / do sport / do sight / do hair / keep shape / keep balance の 10 のコロケーションは、頻度が 1 ケタまたは 0 であり、さらに z-score でコロケーションとしての共起強度がないとみなされる 3 未満、または限りなくそれに近いものである。

表5 共通コロケーションのBNCスコア

	共起語	名詞内 順位	頻度順位	z-score 順位	頻度	z-score
make	mistake	4	44	5	604	156.7
make	contribution	5	40	6	667	136.4
make	difference	6	29	7	991	130.4
make	arrangement	10	67	17	408	77.5
make	effort	13	59	23	455	70.0
make	progress	15	74	26	326	67.4
make	comment	23	80	38	276	56.8
make	money	27	42	43	633	53.0
make	payment	28	77	45	291	50.7
make	appointment	31	107	51	214	49.2
make	point	41	43	65	619	42.7
make	change	46	50	75	513	40.0
make	call	47	102	76	218	39.2
make	impression	53	161	85	141	35.2
make	coffee	62	157	99	145	30.5
make	announcement	77	266	121	80	26.5
make	speech	110	186	181	124	20.5
make	commitment	338	227	700	96	17.6
make	habit	365	322	758	60	15.2
make	friend	384	108	796	211	13.7
make	discovery	499	395	1059	47	12.2
make	plan	502	148	1063	152	12.0
make	acquaintance	639	782	1454	17	9.4
make	reservation	809	692	1669	21	7.9
make	trouble	1003	333	2090	58	6.3
make	stride	1506	1246	3036	8	4.2
take	advantage	3	32	3	1252	245.3
take	care	4	31	4	1316	182.3
take	action	5	33	7	1170	136.5
take	responsibility	10	52	15	561	97.7
take	risk	13	60	23	432	71.2
take	stroll	21	362	37	43	48.9
take	time	29	29	46	1369	43.8
take	measure	39	118	65	199	32.8
take	credit	291	200	524	102	19.2
take	trouble	293	183	527	113	18.6
take	train	329	225	584	84	14.2
get	excited	-	242	51	108	44.6

get	trouble	15	124	63	244	37.3
get	car	28	93	111	387	25.2
give	thought	43	68	58	197	38.6
give	way	56	20	82	600	32.7
give	call	76	115	118	111	26.1
give	hand	284	61	568	226	16.7
give	job	295	83	585	160	15.7
give	laugh	500	579	925	20	10.4
do	harm	3	151	34	346	69.7
do	homework	4	268	61	123	41.1
do	good	5	202	77	197	33.0
do	work	10	69	96	1290	27.2
do	shopping	11	221	102	164	26.7
do	business	1202	131	2923	447	3.9
put	bed	29	79	67	207	29.5
put	practice	30	72	68	236	29.0
put	question	351	77	675	211	15.1
keep	mind	8	37	26	283	55.6
keep	record	13	52	34	213	45.0

以上から結果をまとめると、次の4点になる。

- (1) 8つのワークブックに共通して登場するコロケーションは1つもない。  
最も多く登場するコロケーションは、make effort / make plansで、4冊に共通である。
- (2) コロケーションは、*ECU*、*Advanced*、『徹底演習Ⅰ』に共通して多く登場している。
- (3) 複数ワークブックに共通して登場する delexicalized verbs + 共起語のコロケーションは、EGPに必要な語彙から成り立っている
- (4) BNCに登場する頻度やコロケーション共起強度を参考にすると、複数ブックに共通して登場する delexicalized verbs コロケーションは、頻度も共起強度も高いものもあれば、頻度も共起強度も低いコロケーションもある。

#### 4.2. 考察

分析結果から、学習すべきコロケーションの選定基準と提示方法を考えていく。

#### 4.2.1. コロケーションの選定基準

コロケーション・ワークブックに載せるコロケーションの選定には、(1)学習者のレベルとコロケーション構成語の特徴、(2)コロケーションの共起強度の2点を考える必要がある。

##### 4.2.1.1. 学習者のレベルとコロケーション構成語の特徴

効率よくコロケーションを学習するためには、学習者のレベル毎に顕著なコロケーション習得の特徴を踏まえたワークブックが重要になる。Koya (2006)によると、語彙知識とコロケーション知識は比例し、語彙数が少ない学習者は、コロケーション知識が少ないため、文を構成する要となる語彙的コロケーションを学習する必要がある。特に、動詞+名詞のコロケーションは重要であり、名詞に焦点を当てた指導(バーナード 2010、Cowie 1998、日向 2009、Lewis 2000、投野 2005、2007)や動詞に焦点を当てた指導(Nesselhauf 2003)が推奨されている。一方、語彙数が多い学習者は、動詞+名詞のコロケーションミスは減少するが、それに伴う形容詞や前置詞の間違いが多く見られるため、その部分に焦点を当てた指導が必要になる。今回対象となったコロケーションの give way を例にあげると、学習初期段階では、give と way をコロケーションの形で学習させる必要があるが、学習が進んでくると、give way は分かっても文にする際に“I gave way to a car turning left”の前置詞 to の誤りが目につくようになる(Koya 2006)。

実際に今回対象としたワークブックは、表1からわかるように、ワークブックの対象学習者のレベルが幅広く設定されている。『日常生活』『ビジネス』『英熟語』では、対象学習者は初級から上級までの全レベルとなっている。学習段階に応じてコロケーション学習の特徴が見られるため、このような幅広い対象設定では、効率のよい学習効果が望めない。一方で、8つのワークブックのレベルを個々に見ていくと、一見対象学習者レベルが異なっているように見えるが、実際には重複している部分が多い。例えば、*ECU*、*Advanced*、『徹底演習 I, II』は中級から上級者向けであり、『日常生活』、『ビジネス』『英熟語』は初級から上級まですべてのレベルを網羅している。従って、中級・上級の部分でこの7冊はレベルが重複していることになる。『生活英単語』は初級者対象であるため、『日常生活』、『ビジネス』、『英熟語』と初級の部分でレベルが重複している。しかしながら、学習対象者が部分的に重複している8つのワークブックに共通して登場する

コロケーションはない。例えば、初級レベルを対象とする EGP に基づく『生活英単語』『英熟語』『日常生活』で共通しているコロケーションを調べてみても、3冊で共通しているコロケーションは make call の1つのみ、2冊で共通しているコロケーションは make coffee / make plan / take train / get in (out of) car / give someone call / put someone to bed の6つであった。Koprowski (2005) によると、同じレベルのコースブックにおいて、共通して登場するコロケーションが極めて少ない結果が出ているが、今回の分析も Koprowski (2005) と共通している。つまり、使用するワークブックによって学習できるコロケーションが異なってしまうことになる。学習すべきコロケーションを選定し、ワークブック間でコンセンサスが取れていることが望ましい。

次に delexicalized verbs と共起する語のレベルを考えなければならない。表4によると、今回の分析対象となったコロケーションは、JACET8000 によると 85.3%、SVL12000 によると 92.7% の共起語が高校生までに学習すべき基本語であった。これらのコロケーションは、中高生が既刊のワークブックを使用して無理なく学習することができると言える。現行の英語Iの教科書分析では、教科書で扱われているコロケーションが少ないため、教科書を使用してのコロケーション学習は教師が意識的に工夫して実施しなければならないという結果が報告されているため (Koya 2003, 2004)、コロケーション・ワークブックを積極的に活用すべきであると言えるであろう。

しかしながら、共起語が基本語であるからといって、学習がやさしいわけではない。学習に及ぼす影響として、対象を日本人英語学習者に限定した場合の要因、日本語の影響と意味の透明性を考えなければならない。まず、日本語からの影響を受けて間違いやすいコロケーションを選抜する必要がある。例えば、make contribution は「貢献する」という日本語があてられるが、\*do contribution ではない。make coffee は「コーヒーを入れる・沸かす」であるが、\*put coffee や \*boil coffee ではない。共起語の意味は理解可能でも、動詞は delexicalized verb であるため、日本語からの影響を受けて動詞を選んでしまう。また、コロケーションの主観的基準の1つである意味の透明性 (transparency) を考慮するのは、コロケーションの構成語が基本語であるからといって、その語で構成されるコロケーションが等しく基本的であるわけではないということからである。例えば、make one's point (「主張を通す・目的を果たす」) は、make も point も JACET8000、

SVL12000 において level 1 の基本語であるが、意味は構成素の意味を足し合わせても推測するのが難しい。それは、make が delexicalized verb であることに加え、point の意味は第一義である「作る」「先端」「点」を知っているだけでは意味が取れないためである。つまり、「コロケーションの個々の単語レベル = 学習の難易度」ではない。

#### 4.2.1.2. コロケーションの共起強度

今回共通して登場したコロケーションの共起強度を BNC に基づいて調べてみると、コロケーションとしての共起強度が高いものが収録されているとは一概には言えないことがわかる。コロケーションを定義する場合に、頻度と共起の強さを表す統計値を客観的なコロケーション基準として使用することが多い(堀 2011, 石川 2006, Koya 2006, Sinclair 1987)。表 5 を見てみると、頻度と共起強度が 1000 位以降のコロケーションが、複数ワークブックに共通して載っていた (make discovery / make plan / make acquaintance / make reservation / do business)。これらのコロケーションをワークブックで学習させるよりも、より頻度が高く共起強度が強いコロケーションを載せて学習させるべきではないだろうか。次の表 6 は、今回対象とした 7 つの delexicalized verb と共起する語を BNC の頻度と共起強度の高い 10 位を表したものである。グレーで表示してある共起語は、今回複数ワークブックに登場していたものであるが、数は少ない。また、表 7 は BNC において、4 つの統計指標<sup>7</sup> (z-score, t-score, MI-score, Log-likelihood) による共起強度の高い 20 位までの中で、ワークブックに掲載されているものがどのくらいあるか調べたものである。こちらの結果も表 6 と同じく、ワークブックで取り上げている強度の高い共起語は少ないと言える。コロケーションは数が多く、学習することが非常に困難である (Mackin 1978, 151-152) ことから、ワークブックに載せる学習すべきコロケーションは、学習の効率化を考え、頻度と共起強度の高いものの方がよいのではないだろうか。

表6 BNCにおける共起強度の高い共通コロケーション上位10位  
(頻度とz-scoreに基づく)

	MAKE			TAKE			GET			GIVE		
	頻度 順位	z-score 順位	共起語	頻度 順位	z-score 順位	共起語	頻度 順位	z-score 順位	共起語	頻度 順位	z-score 順位	共起語
1	20	2	decision	8	1	place	69	4	hold	16	1	rise
2	196	3	amends	16	2	account	88	12	touch	122	2	damn
3	21	4	sense	32	3	advantage	134	13	grip	32	3	impression
4	44	5	mistake	31	4	care	46	23	job	27	6	advice
5	40	6	contribution	33	7	action	415	32	hang	22	7	chance
6	29	7	difference	40	8	step	51	36	money	57	8	indication
7	22	9	use	42	9	look	82	38	chance	53	10	ring
8	39	11	statement	25	11	part	267	39	feel	88	11	clue
9	184	16	fuss	195	14	precedence	103	45	help	98	12	kiss
10	67	17	arrangement	52	15	responsibility	96	58	bed	89	13	lift
	DO			PUT			KEEP					
	頻度 順位	z-score 順位	共起語	頻度 順位	z-score 順位	共起語	頻度 順位	z-score 順位	共起語			
1	32	29	thing	21	8	hand	36	3	touch			
2	57	32	job	108	11	kettle	22	4	eye			
3	151	34	harm	33	14	arm	66	8	pace			
4	268	61	homework	41	18	pressure	82	14	secret			
5	487	76	utmost	101	19	stop	250	16	tab			
6	329	87	housework	64	21	phone	115	19	check			
7	410	92	bidding	42	23	foot	69	23	track			
8	69	96	work	63	24	finger	37	26	mind			
9	221	126	shopping	97	29	touch	128	28	watch			
10	164	130	justice	76	31	weight	2643	33	door/lid			

表7 BNCにおける共起強度の高い上位20位までに入っている共通コロケーション  
(z-score, t-score, MI-score, log-likelihoodに基づく)

delexicalize dverbs	上位20位までに入っている 共起語	上位20位までに入っていない 共起語
Make	arrangement / comment / contribution / difference / effort / mistake / point / progress	adjustment / claim / concession / contact / debut / decision / exit / fool / fortune / fun / gesture / impact / love / mind / noise / plea / prediction / profit / sense / statement / use / way
Take	action / advantage / care / responsibility / risk / time	account / breath / form / hand / hold / interest / lead / leave / look / minute / note / notice / part / photo / pill / place / precaution / pride / refuge / step / surprise / toll / view / wicket
Get	car / trouble	address / bed / bike / chance / drink / foot / grip / hand / help / hold / idea / impression / job / load / mention / money / name / nose / people / phone / stuff / tape / thing / touch / work
Give	laugh / thought / way	access / advice / answer / birth / blessing / boost / chance / credence / damn / detail / evidence / example / headache / impression / indication / information / insight / kiss / lift / money / name / notice / opportunity / permission / power / priority / prominence / reason / rise / shake / sigh / smile / undertaking / warning
Do	business / harm / work	difference / fact / friend / hair / help / job / justice / lady / money / record / rest / sense / sort / thing
Put		arm / back / bag / coat / ease / end / finger / foot / front / hand / kettle / money / name / paper / pen / perspective / phone / place / pressure / reach / receiver / risk / shoe / stop / strain / tick / touch / tray / weight
Keep	mind / record	bay / check / child / clam / control / dark / date / diary / distance / eye / finger / foot / grip / hand / hold / lid / minimum / momentum / pace / peace / place / promise / secret / tab / temper / touch / track / watch

#### 4.2.2. 提示方法

今回の分析では、表3に見られたように、同じコーパスを利用して異なるレベルを対象としたECUとAdvancedの2冊で、共通しているコロケーションを扱っていることがわかった。これは、重要なコロケーションをレベルを変えたワーク

ブックに共通して登場させることにより、繰り返しの効果、つまりコロケーションの定着を促すことにつながると考えられる。繰り返し学習することによって効果がでることは、多くの研究者が認めているところである。例えば、読んでいるテキストに未知語が出てきた場合、平均6回以上の繰り返しが必要であること (Crothers & Suppes, 1967; Kachroo, 1962; Rott, 1999; Salling, 1959; Saragi, Nation and Meister, 1978; Zahar, Cobb and Spada, 2001) や、少なくとも1カ月に3回反覆して学習すると、長期記憶に移行して定着すること (池上, 2002) があげられる。このことから、効果的なワークブックでは、重要なコロケーションを複数回学習できるように考えるべきである。それぞれの学習レベル毎に厳選した重要なコロケーションを、1つのワークブック内で複数回学習させるようにしたり、*ECU, Advanced* のようにレベルの異なるコロケーション・ワークブックを作成し、それに共通して重要なコロケーションを載せて繰り返し学習ができるようにしたりする工夫が必要であろう。

## 5. おわりに

本論文では、コロケーション・ワークブックに共通して登場する delexicalized verb と共起語のコロケーションに限定した分析結果を報告した。現在出版されているコロケーション・ワークブックでは、EGPに必要な基本語で構成されている delexicalized verb + 共起語のコロケーションを多く扱っているというメリットがあるものの、必ずしも高頻度・高共起強度のコロケーションを扱っているわけではなく、さらにワークブックによって学習できるコロケーションが異なるというデメリットがあることが判明した。コロケーション・ワークブックで効率よくコロケーションを学習するためには、まずワークブックの対象レベルを設定し、そのレベルに応じたコロケーションを、構成語の特徴、コロケーションの頻度と強度、そして学習に及ぼす要因を考えて作成しなければならない。また、提示の仕方にも工夫を凝らす必要がある。

本稿で報告したのは、コロケーション・ワークブックの一分析から導いた限定的な考察である。効果的なワークブックを作成するには、さらに日本人英語学習者のレベルに応じたコロケーションを選定する必要がある。それには、母語からの影響や、コロケーション習得のメカニズムなど、更なる研究分析を進めていかなければならない。これらの研究については、稿を改めて報告したい。

## 註

本稿は、2011年9月18日に早稲田大学にて開催された日本実用英語学会第36回年次大会での発表「コロケーション・ワークブックの質的分析」の一部に加筆・修正したものである。

- 1 コロケーション・ワークブックは、以下のように短縮表記にする。

コロケーション徹底演習Ⅰ	→徹底演習Ⅰ
コロケーション徹底演習Ⅱ	→徹底演習Ⅱ
出る順コーパスドリル 日常会話編	→日常会話
出る順コーパスドリル ビジネス編	→ビジネス
コロケーションで学ぶ生活英単語厳選 385	→生活英単語
英熟語+コロケーション問題 厳選 700 題	→英熟語
<i>English Collocations in Use ECU</i>	→ <i>ECU</i>
<i>English Collocations in Use: Advanced</i>	→ <i>Advanced</i>

・『日常会話』と『ビジネス』は、複数の大規模コーパス（3億語規模）と自作の会話コーパス（2500万語）のデータを基に作成したものである。

・*ECU*と*Advanced*は、Nottingham University と Cambridge University Press が共同で作成した CANCODE corpus、書き言葉と話し言葉を集めた Cambridge International Corpus、そして学習者コーパスである Cambridge Learner Corpus の3つのデータを基に作成したものである。

- 2 AntConcは、早稲田大学の Laurence Anthony 氏が開発・発表しているフリーのソフトウェア。参考ホームページ：<http://www.antlab.sci.waseda.ac.jp/index.html>
- 3 英文語彙難易度解析プログラムは、青山学院大学の染谷泰正氏が開発し、2006年からウェブサイトで公開されている。  
参考ホームページ：[http://someya-net.com/wlc/index\\_J.html](http://someya-net.com/wlc/index_J.html)
- 4 JACET8000 は、日本人英語学習者のための 8000 語の学習語彙リストである。大学英語教育学会基本語改訂委員会が編纂し、British National Corpus と日本人英語学習者のために独自に作成されたサブコーパスに準拠して作成されたものである。
- 5 SVL12000 は、JACET8000 と同様に、国内で広く使用されている日本人英語学習者のための 12000 語の学習語彙リストである。株式会社アルクが、ネイティブスピーカーの使用頻度をもとに、日本人学習者にとっての有用性と重要性を考慮して作成されたものである。
- 6 British National Corpusは、話し言葉・書き言葉を合わせた現代イギリス英語 1 億語からなるコーパスである。

- 7 今回使用した z-score, t-score, MI-score, Log-likelihood は、コロケーションの共起強度や確信度を測るのによく使用されている統計指標である。BNC では、z-score の使用を推奨しているが、その他の統計指標を指示する研究者 (Barnbrook 1996、堀 2011、石川 2006、Sinclair 1987) も多いことから、ワークブックに掲載すべき delexicalized verbs と共起する語を提案するのに使用した。
- 参考ホームページ: <http://bncweb.lancs.ac.uk>

## 参考文献

- バーナード, クリストファ (2010) 『英語コロケーション 2500』 東京: プレイス
- Barnbrook, G. (1996) *Language and computers: A practical introduction to the computer analysis of language*. Edinburgh: Edinburgh University Press.
- Cowie, Anthony P. (ed.). (1998) *Phraseology*. Oxford: Clarendon press. (カウイー・エイ・ピー 南出康世・石川慎一郎監訳 (2009) 『慣用連語とコロケーション』 東京: くろしお出版)
- Crothers, E., & Suppes, P. (1967) *Experiments in second-language learning*. New York: Academic Press.
- 日向清人 (2009) 『ビジネス英単語』 東京: DHC
- 堀正広 (2011) 『英語コロケーション』 東京: 研究社
- 池谷裕二 (2002) 『最新脳科学が教える高校生の勉強法』 東進ブックス
- 石川慎一郎 (2008) 「コロケーションの強度をどう測るか—ダイス係数、tスコア、相互情報量を中心として—」 ([http://language.sakura.ne.jp/s/ilaa/ishikawa\\_20080317.pdf](http://language.sakura.ne.jp/s/ilaa/ishikawa_20080317.pdf)) 2010.7.1
- Kachroo, J. N. (1962) Report on an investigation into the teaching of vocabulary in the first year of English. *Bulletin of the Central Institute of English*, 2, 67-72.
- Koprowski, M. (2005) Investigating the usefulness of lexical phrases in contemporary coursebooks. *ELT journal* 59(4), 322-332.
- Koya, T. (2003) Collocation research based on corpora collected from English textbooks for Japanese upper secondary schools. *Proceedings of the 7<sup>th</sup> conference of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics, Tokyo*, 7, 101-111.
- Koya, T. (2004) Collocation research based on corpora collected from high school English textbooks in Japan. In Y. Watanabe, I. Nagano, & A. Morita (Eds.), *Collection of papers in honor of Professor Yoshiaki Shinoda*, 99-113. Tokyo: Nanundo.
- Koya, T. (2006) *The acquisition of basic collocations by Japanese learners of English*. Unpublished doctoral thesis. Waseda university, Tokyo, Japan.
- 小屋 多恵子 (2012) 「コロケーション・ワークブック作成への筋道 (1) —現状分析と展

- 望一」『日本実用英語学会論叢』18号、15-25.
- Lewis, M. (ed.). (2000) *Teaching collocation*. Hove: Language Teaching Publications.
- Lewis, M. (ed.). (2002) *Implementing the lexical approach*. Hove: Language Teaching Publications.
- Mackin, R. (1978) On collocations: Words shall be known by the company they keep. In P. Strevens (ed.), *In honour of A. S. Hornby* (pp.149-165). Oxford: Oxford University Press.
- Nesselhauf, N. (2003) The use of collocations by advanced learners of English and some implications for teaching. *Applied Linguistics*, 24(2), 223-242.
- Partington, A. (1993) Corpus evidence of language change - The case of the intensifier. In Baker, M. et al. (eds.), *Text and Technology*. In Honour of John Sinclair. Amsterdam: John Benjamins. 177-192.
- Rott, S. (1999) The effect of exposure frequency on intermediate language learners' incidental vocabulary acquisition and retention through reading. *Studies of Second Language Acquisition*, 21, 589-619.
- Salling, A. (1959) What can frequency counts teach the language teacher? *Contact*, 3, 24-29.
- Saragi, T., Nation, I.S.P., and Meister, G. (1978) Vocabulary learning and reading. *System*, 6, 72-78.
- Sinclair, J. McH. (1987) Collocation: A progress report. In R. Steele, & T. Threadgold (eds.), *Language topics: Essays in honour of Michael Halliday II* (pp.319-331). Amsterdam: John Benjamins.
- Sinclair, J.M. & A. Renouf (1988) "A lexical syllabus for language teaching." In R. Carter & M. McCarthy (eds.), *Vocabulary and Language Teaching*. London: Longman.
- 柳沢康司・佐藤正人 (2012) 「Basic Englishに見る教育用制限語彙の可能性－語彙の選択基準と動詞の制限－」  
 〈[http://www.redbird.jp/ky\\_office/publications/basic\\_sfc.pdf](http://www.redbird.jp/ky_office/publications/basic_sfc.pdf)〉 2012.7.1.
- Zahar, R., Cobb, T., & Spada, N. (2001) Acquiring vocabulary through reading: Effects of frequency and contextual richness. *Canadian Modern Language Review*, 57, 541-572.

[Collocation workbooks]

- 古澤寛行編著 (2004) 『コロケーション徹底演習Ⅰ』 泰文堂
- 古澤寛行編著 (2004) 『コロケーション徹底演習Ⅱ』 泰文堂
- McCarthy, M. & O'Dell, F. (2005) *English Collocations in Use*, CUP.
- 旺文社編 (2010) 『集中マスター 英熟語＋コロケーション問題 厳選700題』
- O'Dell, F. & McCarthy, M. (2008) *English Collocations in Use (Advanced)*, CUP.

佐藤誠司 (2008) 「単語は正しい結びつきで覚える！コロケーションで学ぶ生活英単語厳選 385」『ゼロからスタートEnglish』 Jリサーチ出版

選 385」『ゼロからスタートEnglish』 Jリサーチ出版

投野由紀夫 (2005) 『英会話コーパストリル(日常会話編)』 アルク

投野由紀夫 (2007) 『英会話コーパストリル(ビジネス編)』 アルク

Appendix. 8つのワークブックに登場するdelexicalized verbと共起語

make	
make a career of / make a comment / make a decision / make a deduction / make a deposit / make a discovery / make a mistake / make a payment / make a profit / make a purchase / make a raid on / make a sign / make a speech / make amendments / make an announcement / make an appearance / make an impression on / make answer / make any/some difference / make arrangements / make believe / make efforts / make money / make one's acquaintance / make progress / make sense / make strides / make trouble	徹底演習I
make a habit of / make a big fuss over / make ends meet / make great strides / make headway / make history / make progress / make sure that / make up one's mind / make use of	徹底演習II
make a face / make a hospital appointment / make a movie / make a plan / make a telephone call / make a test / make coffee / make dinner / make friends with / make money / make one's bed / make regulations / make tea / make trouble	日常会話
make a product / make a reservation / make an announcement	ビジネス
make a call / make a payment / make a plan / make a sale / make coffee / make enemies	生活英単語
make A from B / make a promise / make advances / make an effort / make efforts / make one's point	英熟語
make a commitment / make a comparison / make a contribution / make a detour / make a fool out of someone / make a list / make a loss / make a mistake / make a phone call / make a point / make a recording / make a reservation / make a slight alteration / make a small fortune / make a sound / make a speech / make a start / make a withdrawal / make an adjustment / make an allegation / make an appointment / make an assumption / make an effort / make an excuse / make an improvement / make an observation / make arrangements / make changes / make comments / make demands / make friends / make good progress / make headlines / make improvements / make it clear / make modifications / make money / make photocopies / make polite conversation / make preparations / make progress / make redundant / make reference / make small talk / make time / make your way / make yourself at home	ECU
make a good/bad impression / make a breakthrough / make a case for / make a change / make a choice / make a comment / make a change / make a commitment / make a complaint / make a contribution / make difference / make a discovery / make a full recovery / make a habit of / make a living / make a plea / make a proposal / make a relationship / make a stand against / make a success of / make an apology / make an attempt / make an effort / make an escape / make an offer / make arrangements / make calculations / make changes / make friends / make great strides / make improvements / make someone's acquaintance / make mistakes / make plans / make room for / make some suggestions / make someone welcome / make the case for	Advanced

Take	
take a ballot / take a course / take a message / take a nap / take a poll / take a rest / take a risk / take a turn / take a vote / take about shortly / take aim at / take responsibility / take it or leave it / take measures / take medicine / take one's vacation / take one's word for it / take one seriously / take shape / take some time off	徹底演習 I
take a back seat to / take advantage of / take care that / take great pains to do / take hold of / take one by the arm / take one fishing / take one's toll on / take the oath of office	徹底演習 II
take a car / take a cat with someone / take a class / take a lesson / take a test / take a train / take money / take office / take one's hand / take the example of / take the trouble to	日常会話
take the position	ビジネス
take a bath / take a message / take a tour / take a train / take a walk / take care of / take for a drive / take out garbage / take up a sport	生活英単語
take a stroll / take advantage of / take measures / take the risk	英熟語
take a bus / take a chance / take a course / take a decision / take a degree / take a detour / take a diploma / take a dislike / take a free kick / take a holiday / take a joke / take a liking to / take a look / take a penalty / take a photo(s) / take a picture / take a risk / take a shortcut / take a stroll / take a subject / take a train / take a trip / take action / take advantage of / take an exam / take an interest in / take captive / take care of / take charge of / take clothes / take early retirement / take an exercise / take full credit for / take hostage / take into consideration / take offence / take on stuff / take on work / take out a library book / take out a mortgage / take pleasure / take possession of the ball / take practice / take pride in / take prisoner / take responsibility / take someone ages / take someone's advice / take someone up on an offer / take steps / take the lead / take the minutes / take the soft option / take to the streets / take up a position / take up a profession / take up the guitar / take your time	ECU
take a boat / take a complaint seriously / take a firm stance against / take a sideswipe / take an overdose / take credit for / take delight / take exception to / take for granted / take industrial action / take issue with / take it easy for a while / take on responsibility / take priority over / take someone's point / take something seriously / take something badly / take something the wrong way / take the easy way out / take the field / take the flak / take the time to / take the trouble to / take the view that / take up a challenge / take up a lot of room / take up a lot of space / take up a post / take up office / take up references / take your custom elsewhere / take your driving test	Advanced

Get	
get a word / get better / get done / get going / get nowhere / get one into trouble / get straight / get to sleep / get under way / get your priorities right	徹底演習 I
get back on one's feet / get into one's head / get one's money worth / get one's own way / get the ball rolling	徹底演習 II
get a book / get a car / get a cat / get a computer / get a house / get a job / get a problem / get a qualification / get a telephone call / get a ticket / get an interview / get coffee / get details / get dinner ready / get into trouble / get money / get off a train / get on a train / get one's hair cut / get out of bed / get out of the car / get promotion / get tea / get to a station	日常会話
get confirmation	ビジネス
get a bath ready / get a discount / get a flat / get an idea / get in a car / get perfect	生活英単語

get A from B / get excited about	英熟語
get a diploma / get a divorce / get a grade / get a job / get a place / get a qualification / get a good deal / get an education / get angry / get bored / get depressed / get divorced / get excited / get impatient / get in someone's way / get into conversation / get involved / get off on the wrong foot / get off to a good start / get on a plane / get pregnant / get started / get the bang of / get the flavor of / get the impression	ECU
get a message across / get into debt / get hitched / get into reverse / get itchy feet / get off the bus / get the hang of / get the recognition you deserve / get the sack / get to someone / get to the point / get upset / get violent	Advanced

Give	
give a speech / give second thoughts	徹底演習 I
give a thought / give-and-take / give anything to / give one a hand / give way to business transactions	徹底演習 II
give a class / give a lesson / give a job / give a result / give an address / give an example / give money / give someone a hand / give someone a telephone call / give someone a ticket / give someone trouble	日常会話
give an interview / give background / give confirmation / give details	ビジネス
give a bath / give a call / give a discount	生活英単語
	英熟語
give a book a bad review / give a cry / give a film a bad review / give a gasp / give a grade / give a groan / give a laugh / give a lecture / give a loud cry / give a performance / give a presentation / give a sigh / give a talk / give an account of / give credit / give custody / give feedback / give off a smell / give someone a big clap / give someone a call / give someone a clue / give someone a life / give someone a ring / give someone a warm welcome / give someone instructions / give someone pleasure / give someone your word / give the go-ahead / give the impression / give an essay / give up hope / give way to / give your blessing	ECU
give a full apology / give a loud laugh / give a reason / give a straight answer / give evidence / give it your best shot / give permission / give repeated assurances / give someone a good send-off / give something some thought / give vent to your frustration	Advanced

Do	
do a problem / be dramatically opposed / do chores / do fine / do for living / do good / do one harm / do something about / do study / do the dishes	徹底演習 I
be set to do / take great pains to do / make up one's mind to do / do health / rack one's brains to do / do-it-yourself manual / do one good / do research / be hard pressed to do	徹底演習 II
do a test / do much trouble	日常会話
	ビジネス
do one's make up / do the laundry / do the shopping	生活英単語
be anticipated to do / be delayed to do / like to do / do without	英熟語
do a course / do a deal / do a degree / do a diploma / do a lecture / do a research project / go a subject / do a talk / do activities / do aerobics / do an assignment / do an essay / do an exam / do an experiment / do archery / do business / do circuit training / do	ECU

damage / do gymnastics / do harm / do homework / do judo / do research / do some shopping / do some work / do someone a favor / do someone a good turn / do sport / do the convinced / do the cooking / do the ironing / do the shopping / do the sights of / do the washing / do up a house / do weightlifting / do wrestling / do yoga / do your best / do your duty / do your hair	<i>ECU</i>
do a job-share / do a survey / do a job-share / do extreme sports / do plenty of exercise	<i>Advanced</i>

Put	
put an end to / put one on a diet / put one to sleep / put up with	徹底演習 I
put a fast one on / put stress on / put things right	徹底演習 II
put money in a bank / put one's hand up	日常会話
	ビジネス
	生活英単語
	英熟語
put forward a theory / put forward an argument / put forward rapid record / put in a bid / put in the address / put off (making) a decision / put on a production / put others first / put the finishing touches to / put up a flight against	<i>ECU</i>
put a stop to / put down a deposit / put in an appearance / put on a display / put on standby / put on trial / put some distance between / put someone on hold / put someone to any trouble / put the case for / put the past behind you / put together a CV / put up a determined performance / put up (on?) a performance	<i>Advanced</i>

Keep	
keep one busy / keep silence / keep up appearance	徹底演習 I
keep under one's thumb	徹底演習 II
keep a job / keep out of trouble	日常会話
	ビジネス
keep a pet	生活英単語
keep the fire from spreading	英熟語
keep a notebook / keep a watch on / keep an appointment / keep asking / keep fit / keep hitting / keep in contact / keep in touch / keep interrupting / keep one's balance / keep secrets / keep someone informed / keep the peace / keep to the rules / keep your temper / keep your word	<i>ECU</i>
keep a promise / keep afloat / keep one's distance / keep one's nose clean / keep one posted on / keep someone on their toes / keep to the left / keep up a foreign language / keep your balance / keep your eyes peeled	<i>Advanced</i>